

「アラムコSTEAMチャレンジ」 <募集要項>

1.プログラムの概要・応募方法

目的	本プログラムは、STEAM学習における教材の不足を支援するものです。 このプログラムにより、全国5,000人の中高生がハードウェア教材(以下STEAM教材)を使った授業を受けることで、社会課題に興味を持ち、将来において自分の生活や社会をより良くするための課題解決能力を身につけることを目指します。
募集対象	<ul style="list-style-type: none">● 中学校、義務教育学校(後期課程)、高等学校、中等教育学校、特別支援学校(中学部・高等部)● 都道府県市区町村の教育委員会 ※ 応募は、学校または教育委員会の単位で可能です。 ※ 私立学校等は対象としません。
事業期間	2024年9月2日(月)～2026年2月27日(金)
採択件数	40校程度 ※うち2割程度を女性教員応援枠、1割程度を初任者応援枠(新規採用5年目まで)とします。
プログラム内容	<ol style="list-style-type: none">1. STEAM教材の無償提供(教材リストより選定いただけます)2. STEAM教材を使った授業事例の共有3. STEAM教材の使い方に関する動画の配信4. 授業やSTEAM教材に関する質問・相談の受付 さらに、希望校を対象に、みんなのコードによる伴走支援を行います。(以下、伴走校とする) 伴走内容は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">● 個別相談● 個別相談に応じて、授業計画等のサポート● 授業の見学・助言・授業後の振り返り● 伴走担当者<ul style="list-style-type: none">○ 千石 一朗 みんなのコード 未来の学び探究部 研究員(元・中学校「技術・家庭科(技術分野)」教員)○ 永野 直 みんなのコード 未来の学び探究部 研究員(元・高等学校「情報科」教員) 伴走校は5校程度とし、採択時に決定します。
実施いただきたい内容	事業期間中に、以下を実施してください。 <ol style="list-style-type: none">1. 2024年度及び2025年度にそれぞれ1回(1つの単元(テーマ)で複数時間行う授業も1回とする)以上(あるいは事業期間内に計2回以上)、STEAM教材を使った授業※を実施してください。 ※ 本プログラムで実施する授業の教科は、必ずしも中学校「技術・家庭科(技術分野)」・高等学校「情報科」に限られません。(例:中学校「総合的な学習の時間」、高等学校「総合的な探究の時間」や各専門科目、学校設定科目等で利用する場合等)2. 授業の前後に、生徒・教員対象アンケート(指定様式)を実施してください。3. 授業実施月に、授業実施完了フォームの回答をお願いします。4. 授業終了後に、授業実践報告書(指定様式)を提出してください。5. 1～4が確認出来た場合、学校もしくは教育委員会にSTEAM教材を寄贈させていただきます。 加えて、以下にご協力をお願いいたします。 <ul style="list-style-type: none">● 特設サイト及びNPO法人みんなのコードのホームページ等に学校名を記載させていただきます。● その他、事務局からの連絡や各種調査等にご協力いただくことがあります。
こんな先生におすすめ	<ul style="list-style-type: none">● これまでSTEAM教材を使った授業を実践したいと思っていたが、予算の都合で教材が準備できず、困っている先生● プログラミング教育の経験が浅い、または苦手意識を持っている先生● これを機に、STEAM教材を使った授業にしっかり取り組みたいと思っている先生

STEAM教材リスト	<p>1校あたり50万円相当のSTEAM教材を無償で提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 応募時にNo.1～4の中から1つ選択してください。 ● 教材の詳細は特設サイトをご確認ください。 ● 教材によって提供個数が違います。ご確認ください。 <table border="1" data-bbox="252 197 1461 533"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>教材キット名</th> <th>教材キット内容物</th> <th>1校あたり提供個数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>タコラッチ</td> <td>タコラッチ センサセット（人感・土壌・サーボモータ）</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>AkaDako探究ツール</td> <td>AkaDako探究ツール</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>アーテックロボ2.0</td> <td>アーテックロボ2.0 基本セット</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>M5Stack</td> <td>M5GO IoTスターターキット V2.7</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ AkaDako探究ツール、アーテックロボ2.0はグループ学習を想定しています。</p>	No.	教材キット名	教材キット内容物	1校あたり提供個数	1	タコラッチ	タコラッチ センサセット（人感・土壌・サーボモータ）	41	2	AkaDako探究ツール	AkaDako探究ツール	25	3	アーテックロボ2.0	アーテックロボ2.0 基本セット	14	4	M5Stack	M5GO IoTスターターキット V2.7	41
No.	教材キット名	教材キット内容物	1校あたり提供個数																		
1	タコラッチ	タコラッチ センサセット（人感・土壌・サーボモータ）	41																		
2	AkaDako探究ツール	AkaDako探究ツール	25																		
3	アーテックロボ2.0	アーテックロボ2.0 基本セット	14																		
4	M5Stack	M5GO IoTスターターキット V2.7	41																		
補足	<p>採択件数について(全40校程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 女性教員応援枠(うち2割程度) <ul style="list-style-type: none"> ○ 申請担当者が、中学校「技術・家庭科(技術分野)」または高等学校「情報科」の普通免許状を有する女性教員の枠を設置します。この枠は、情報教育を担う教員のジェンダーバランスを勘案したものです。 ● 初任者応援枠(うち1割程度) <ul style="list-style-type: none"> ○ 若手・経験年数の少ない先生の支援拡大に向け、設置します。申請担当者が、中学校「技術・家庭科(技術分野)」または高等学校「情報科」の普通免許状を有し、専任として採用されてから5年目(2020年4月以降に採用)までを対象とします。現任校へ着任してからの期間ではありません。 																				
応募締切	2024年7月19日(金)18:00																				
応募方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 一次選考:WEB応募(Googleフォーム) <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校情報 ○ 申請担当者情報 ○ 応募理由 ○ 教材の選択 ○ 教材を選んだ理由・授業のイメージ等 ● 二次選考:オンライン面談(最大30分) <ul style="list-style-type: none"> ○ WEB応募日から2024年8月2日(金)の間で、順次実施予定です。 ● 三次選考:有識者による選考会 <ul style="list-style-type: none"> ○ 選考委員によって審査を行い、採択の可否を決定します。 ● 採択通知:2024年8月19日(月)以降、応募申請時に登録されたメールアドレス宛に通知します。 <p><留意事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 応募申請は、学校または教育委員会の単位で行ってください。 ● 個人での応募申請はできません。また、同一の学校または教育委員会から複数の応募はできません。 ● 事業期間中に申請担当者が異動した場合は、応募校あるいは教育委員会で引き続き実施していただきますが、個別の事情については事務局にご相談ください。 ● 【教育委員会で応募する場合】ご提供するSTEAM教材は1校分です。提供したSTEAM教材は教育委員会で管理し、授業実施校との調整をお願いします。各学校への教材提供をご希望の場合は、各学校より個別で応募してください。なお、「生徒・教員対象アンケート」及び「授業実践報告書」は各学校が作成し、教育委員会で取りまとめて提出をお願いします。 																				
選考の観点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 意欲...STEAM教育の実施に関心・意欲を持っている先生を評価します。 2. 実現可能性...本プログラム及び教材をどの程度活用できるイメージがあるかを評価します。 																				
選考委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 安藤 明伸 広島工業大学 情報学部 情報システム学科 教授 ● 新谷 美紀 横須賀市教育委員会事務局 学校教育部教育指導課 主査指導主事 ● 三浦 利信 全日本中学校技術・家庭科研究会 会長、羽村市立羽村第一中学校 校長 																				

2. 全体スケジュール

	時期	応募・採択者の皆さまにお願いすること
選考期間	一次選考・応募締切	2024年7月19日(金)18:00 WEB応募(Googleフォーム)
	二次選考	WEB応募日から2024年8月2日(金)の間で、順次実施 オンライン面談(最大30分) ※ 応募のあった方から順次実施
	三次選考	2024年8月18日(日)までに選考会を実施し、採択校の最終決定 —
	採択通知	2024年8月19日(月)以降 —
	STEAM教材の発送	2024年10月中旬以降 STEAM教材の受け取り 10月中旬～順次到着。教材によっては納期の都合上、採択後に授業日の調整をお願いする場合があります。
事業期間	授業準備期間	2024年9月2日(月)～授業実施日まで ・STEAM教材の使い方に関する動画の視聴 ・授業や教材に関する質問・相談 ・何度でもご相談いただけます。元教員の伴走者がサポートします。
	授業実施期間	STEAM教材到着後～2026年2月13日(金) 1. STEAM教材を使った授業の実施 ↳ 2024年度及び2025年度にそれぞれ1回以上(あるいは事業期間内に計2回以上) 2. 生徒・教員対象アンケート(指定様式)の実施 ↳ 授業前後に、アンケートを実施してください。 指定様式は、別途ご連絡します。 (所要時間10分程度) 3. 授業実施完了フォームの提出 ↳ 事務局より、授業実施完了についての確認フォームを毎月お送りします。 授業を実施した月のみ、回答をお願いします。 (所要時間5分程度)
	授業実践報告書の提出	2024年度実施分締切: 2025年3月31日(月) 2025年度実施分締切: 2026年2月16日(月) ・授業実践報告書の提出 ↳ STEAM教材を使った授業の実践報告書をご提出ください。 ● 2回分(必ず、授業実施年度にご提出ください) ● 内容: 写真を含めた簡単な授業実践報告書(授業1件につきA4サイズ2枚程度、指定様式による)
	事業終了	2026年2月27日(金)

※ 上記のほか、事業期間中、授業の様子や教材の使用状況についてご連絡を差し上げることがございます。ご協力ください。
※ ご提出いただいたアンケート及び授業実践報告書は、生徒の個人情報保護の上で、特設サイト等に掲載・公表予定です。

3. 主催団体について

問い合わせ先	NPO法人みんなのコード https://code.or.jp 〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町7-3 金港ビル7階 E-mail: steam@code.or.jp 担当 : アラムコSTEAMチャレンジ事務局 担当者
NPO法人みんなのコード	「誰もがテクノロジーを創造的に楽しむ国にする」をビジョンに掲げ、全国でテクノロジー教育の普及活動を推進するNPO団体です。100万人以上の小中高生が利用する授業用プログラミング教材「プログル」の無償提供、プログラミング教育を担う先生向け各種研修の開催、子どもたちが自由にテクノロジーに触れられる第三の居場所「みんなのクリエイティブハブ」の運営など、幅広い取り組みを行っています。生成AIをはじめとした情報技術の重要性が増す中、2023年には「みんなで生成AIコース」をリリースし、公教育におけるテクノロジー教育拡充に向けた政策提言や学術機関と連携した実証研究にも取り組んでいます。
アラムコ・アジア・ジャパン株式会社	アラムコの日本現地法人。日本及び周辺地域でのアラムコの事業のうち、マーケティング、資材調達、ロジスティクス、品質保証、IT、新規事業開発などへのサポートサービスを提供しつつ、日本の地域社会の発展を支えるお手伝いをしています。一例として、15年以上にわたり、沖縄の海洋環境の研究から、次世代の科学技術人材育成、サンゴ保全・再生に至るまで多様な活動を支援しています。このようなプログラムを通じて、日本の子どもたちがテクノロジーや環境科学等に親しみ、世界的な視点を持ち、社会的課題に取り組む力を身につけることを応援しています。 HP: Where Energy is Opportunity アラムコ・ジャパン (aramco.com)
アラムコ	サウジアラビアの総合エネルギー・化学企業。世界のエネルギー需要を満たすために、原油・ガス生産から次世代エネルギーの開発までその革新的な技術で資源の安定供給、持続的かつ効率的な活用、そして、より価値あるものに変えることを目指し

<p>ています。また、アラムコは教育を企業発展の要と位置づけ、サウジアラビアで初めて商用利用可能な油田が発見された1940年代から訓練・能力開発プログラムを展開しています。</p> <p>その80年にも及ぶ教育の成果は、STEManiaプログラム(科学、技術、工学、数学の学位を取得するための大学奨学金)をはじめ、特にSTEAM分野における女性の割合に表れています。2006年以来、女性の研究者とエンジニアの人数は14倍に増加し、取得した特許件数は352に上ります。</p> <p>HP: https://www.aramco.com/</p>
--

※ プライバシーポリシーについて

個人情報は、みんなのコードプライバシーポリシー(<http://code.or.jp/privacy>)に従って扱われます。